

## 撫養港海岸直轄海岸保全施設整備事業について

### ■ 事業概要

撫養港海岸背後地には鳴門市の中心市街地が広がり、市役所や小学校など行政・教育施設やいくつもの医療機関が立地する重要な地域であるにもかかわらず、既存堤防は、整備後40年以上が経過し、亀裂の発生などの老朽化が著しい状況でした。また、南海トラフを震源地とする地震が発生した場合、既存堤防の液状化による沈下や倒壊が予測されていました。

この事業は、津波から鳴門市街地の貴重な生命・財産を守ることを目的として、老朽化した既存堤防の嵩上げや液状化対策のほか、大型の陸閘については電動化、自動化を実施しました。

事業期間	総事業費	堤防(改良)	水門・樋門	陸閘(新設)	陸閘(改良)	防護人口	防護面積
H18～H29	約162億円	2,590m	9基	10基	10基	約10,200人	約330ha



(各工区の特徴)



#### ④工区：倉庫、石油貯蔵所

堤防の改良にあたっては、付近で行われる港湾荷役作業と調整を行いました。また石油タンクが立地するエリアでは、タンクへの変位に細心の注意を払いました。



#### ③工区：鳴門競艇場

鳴門市のスタンド建替に伴う、レース休止期間(2年)の工期制約がありました。また市民の憩いの場として、親水空間を創設しました。



#### ②工区：製塩工場

既設堤防の背後で製塩工場が操業中。船にて、製品の搬出、燃料の石炭搬入を行うため、堤防の改良にあたっては調整を行いました。



#### ①工区：住宅地

既設堤防の背後に民家が密集するエリア。騒音・振動が少ない施工を行いました。